



はくい (HAKUI)

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

市議会だより

No.70

発行者／石川県羽咋市議会
編集者／市議会だより編集委員会
住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地
TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210
<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

- 一般質問…………… 2
- 各委員会報告…………… 6
- 市民の声…………… 8



日本のビーチランキング2016 第1位!

世界最大の旅行クチコミサイト「トリップアドバイザー」より

日本でここだけ! 車で走れる砂浜



日本のビーチランキング1位に選ばれた千里浜なぎさドライブウェイ

平成28年第3回定例会の概要

平成28年第3回羽咋市議会定例会が6月6日から6月21日までの16日間開催された。提出された議案は、平成28年度羽咋市一般会計補正予算案など議案6件、報告9件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、「羽咋創生実行元年と位置付ける今年度は、地域資源を活用した雇用の創出をはじめ、地域の魅力を活かした移住・定住の促進、地域包括ケアの主要施策として取り組む介護予防、地域の宝である文化財の価値を市民が再認識する機運の醸成が羽咋創生を推進する4つの重要施策である」と述べた。

6月14日の質問日では8人の議員が質問に立ち、山辺市長の3選出馬、ちりはまホテルゆ華の

現状と周辺整備、市民・子どもたちの安全安心を守ること、健康寿命を延伸し医療費を抑制するための施策、企業誘致などについて質問した。

最終日の採決では、平成28年度羽咋市一般会計補正予算案など議案8件、報告5件、諮問2件を全会一致で原案のとおり可決、承認、適任とした。請願3件のうち2件を採択、1件を不採択とした。

また、追加された議員提出議案の「熊本地震災害対策と被災者生活再建支援法の充実を求める意見書」、「教育予算の拡充を求める意見書」の2件は可決した。



中村 孝清 議員

羽咋市が進む方向を決める 創生実行元年



道の駅「のと千里浜」造成工事

ちりはまホテルゆ華の経営状況は

【質問】 当初、市民から経営が難しいのではとの憂いがあった。その後の経営と、入り込み客数の状況を聞く。

【答弁】 宿泊人数は、平成26年度の1万5人から平成27年度は1万2,466人となり、売上額は1億4,440万円から2億1,200万円となり、営業利益も1,280万円から2,410万円へ増加した。今後も道の駅を羽咋市の玄関口として多くの観光客を迎え入れ、満足していただける施設づくりを目指していく。

山辺市長の3選出馬の意欲と決意を聞く

【質問】 1期目の公約は、6年間続いた赤字財政の脱却を重要課題として、財政基盤の安定化を

最優先として、実質単年度収支黒字化を平成22年度に達成された。2期目は、財政再建から、はくい再生へと安定した雇用の創出と企業誘致を進め、懸案事業、特に安全安心な諸事業にもスピーディーに取り組んできた。地方創生実行元年と位置づけている重要な時期であり、3選出馬の意欲と決意を聞く。

【答弁】 地方創生は厳しい都市間競争であり、その競争に勝ち抜いていくためにも、挑戦を恐れず、重要施策を強力に進め、新しい羽咋市の未来づくりに邁進したい。市民の皆様の御理解と御支援がいただけるのであれば、引き続き市政を担当し、全身全霊をかけて精進する。

その他の質問

千里浜海岸の人工リーフ設置工事の進捗状況について



浅野 俊二 議員

企業誘致と若者定住、 この流れをとめるな!!



新しい宅地造成と企業進出のモンベル

住宅政策

【質問】 住宅政策について問う。

【答弁】 現在、移住・定住の促進を図るため、住まいづくりや空き家リフォーム助成など実施し、駅東定住促進分譲地の完売を踏まえ、新たな宅地分譲の土地選定調査を実施している。現分譲地では、6世帯15人が転入している。今後は若者の移住・定住には安価で良質な宅地提供を考えていく。

山辺市政における企業誘致、その成果を今後どう生かすのか

【質問】 志賀町の工業団地で大手の武蔵精密が撤退をした。本市でも前市長の時、羽咋市にと約束されていたNTNが宝達志水町に進出した。企業誘致の現状はどうなっているのか。

【答弁】 平成20年以降の企業誘致は、泰生、モンベル、重光商事、創和テキスタイルの4社で、投資額合計は64億円、雇用人数は145人である。さらにステンレス久世、NTN羽咋製作所、福井鋳螺が増設し、投資額は12億円、雇用人数は19人である。この成果を生かし、今後も地元企業の増設や関連企業の誘致を積極的に進め、雇用の場の創出、若者の定住を進める。そのための方策として石川県や関係機関と連携を図りながら新たな工業用地の確保を目指す。

その他の質問

- ①ちりはまホテルゆ華の現状と周辺整備について
- ②安全安心のまちづくりについて
- ③るんるんバスの利用について



浜名 等 議員

市民の安全を守る 防災士連絡会の設立を



幅員の狭い市道羽昨202号線

防災士連絡会と自主防災組織連絡会の設立

【質問】 大規模な災害時には消防団を初めとする各種団体の連携や各自主防災組織間での協力体制の整備が必要になってくる。市長はこれまでに、防災活動の強化や防災士連絡会、自主防災組織連絡会の設立についての発言をしているが、各連絡会の設立へ向けた取り組み内容や進捗状況について聞く。

【答弁】 防災士連絡会と自主防災組織連絡会の設立準備状況については、昨年は役員構成などの調整がつかず開催ができなかった。本年は秋ごろに総会を開催する。

市道羽昨202号線の道路整備

【質問】 コスモアイル前の市道羽昨202号線は、県道若部千里浜インター線の取り付けからコスモ

アイル羽昨敷地までの約190mの間は、従来の農道をそのまま利用していることから、幅員が狭く対向車とのすれ違いでは注意を要する状況になっている。また、バスや大型車の通行時に対向車が来た場合には、対向車は戻ることになることから、拡幅による道路整備が必要ではないかと考える。市長の考えを聞く。

【答弁】 市道羽昨202号線の現状では、車両のすれ違いに支障があることは承知しており、県道若部千里浜インター線の整備計画を踏まえながら拡幅整備を検討する。また、県道若部千里浜インター線との隅切り工事についても、暫定的な改良も含め、石川県と協議しながら検討する。

その他の質問

県道若部千里浜インター線について



北川 真知子 議員

“消費喚起” 促す対策を



パセオ通り

地域振興対策

【質問】 市内の企業や個人業者の仕事が増え、市内の商店での消費喚起を促す「住宅リフォーム制度」の復活を求める。また、「起業家支援事業」の対象を小規模事業者にも広げ、店舗や工場の改修、新築を市内の施工業者に依頼する場合、市が補助金を交付する「商店版リフォーム」への助成制度の創設を求める。

【答弁】 一般住宅のリフォーム助成は、平成24年度から26年度の実施で需要が落ち着いたと判断し、平成27年度から空き家リフォーム及び三世代同居世帯リフォームを実施している。「商店版リフォーム」への助成については、今後、他の自治体の状況も踏まえ検討する。

原子力防災

【質問】 邑知中学校に1億8,000万円をかけて屋

内退避施設を整備したが、放射線防御施設としての能力と備蓄品の整備、邑知中学校での屋内退避訓練の計画について聞く。

【答弁】 屋内退避施設は、要援護者が3日間程度の避難ができる。気密性を向上させた施設内に放射性物質を取り除いた空気を送り込み、外部より高い気圧とし、放射性物質が施設内に入り込まないようにする。備蓄については、今年度に非常食や寝袋、衛生用品等を整備する。また、屋内退避訓練は、今年度の石川県原子力防災訓練に合わせて実施する予定。

その他の質問

- ①保育について
- ②介護保険制度について
- ③中央公園の遊具について



松永 幸則 議員

安全で健康に暮らす ことはみんなの願い

メール配信登録率の向上を

【質問】 市内全小中学校のメール配信システムの登録者率および全体の登録者率は何%か。今後、登録者を増やすためにどのような方策を施すか。

【答弁】 羽咋小、粟ノ保小、余喜小はほぼ100%、邑知小は97%、西北台小は87%、羽咋中は84%、瑞穂小は82%、邑知中は74%の登録率である。全体では90%の登録率である。未登録の保護者に対しては、各学校からメール配信の有効性を説明していきたい。

特定健診の受診率向上を

【質問】 医療費の増加を防ぐためにも重要な特定健診は、病気のリスクの有無を検査し、リスクが



櫻井 英一 議員

障害者支援施策の充実で 共生の地域づくりを

障害者差別解消法の周知・啓発

【質問】 どんな法律が施行されてもその中身が伴っていなければ意味がない。地域が主体となって差別を無くし、全ての障害者が自立した日常生活や社会生活を営めるような支援体制と共生の地域づくりが重要である。障害者差別解消法の啓発への取り組みを聞く。

【答弁】 障害者差別解消法は、行政機関や民間事業者が障害を理由とする差別を無くすための措置を定めて実施する法律である。市民への理解や啓発の具体的な取り組みとして、「広報はくい4月号」に掲載したほか、今後は民生委員や健康づくり推進員等の会合の場でパンフレットを配布するなど、啓発に取り組むたい。



特定健診の受診は健康寿命を延ばし、医療費を下げる

ある方の生活習慣をより望ましいものに変えていくための保健指導を受けていただくことが目的だが、本市の受診率は46.5%であり、県内19市町の中で12番目と高い方ではない。この現状について、どう認識をしているか。

【答弁】 受診率向上のために、個別健診や集団健診を行い、休日にも実施するなど受診機会を増やしてきたが、本市の受診率は国や県の平均を上回るものの決して高い方ではないと考えており、平成26年度からは自己負担を無料化し、受診しやすい環境づくりにも努めている。

その他の質問

協働のまちづくりについて



障害者差別解消法のリーフレット

企業誘致のさらなる推進

【質問】 羽咋創生を推進していく中で、さらなる企業誘致は不可欠である。本市経済の活性化や働く場の創出、若者の定住に向けて、今後の企業誘致の取り組みを聞く。

【答弁】 企業誘致の推進は、地域の活性化や雇用の場の創出に大きな役割を果たすものと考えている。寺家及び新保工業団地の分譲等が完了し、大規模民間遊休地に新たな企業が進出した今、企業誘致を進めるためには新たな工業用地の確保が必要である。工業用地の確保に向け、今年度、候補地選定調査等を行い、来年度以降に用地の確保を考えている。

その他の質問

健康寿命を伸ばす取り組みについて



新田 義昭 議員

消防力の整備・充実を！



火災防ぎょ訓練

市民の安全・安心対策は

【質問】 ①水防会議が6月1日に開催された。市内の河川や山間地の土砂災害に対する点検と資材の準備は万全か。②4月12日、午後9時過ぎ、旭町で火災が発生し、全焼3棟、小火1棟があり、1名の方が亡くなられた。通報遅れが最大の原因であるが、消防本部が近くにありながら大火災になった。火災防ぎょ訓練の見直しを検討せよ。

【答弁】 ①関係機関と水防体制等の確認を行うとともに、水防資器材の補充、更新等を行っている。関係機関及び地域住民の皆様と連携し、万全を期す。②今後の火災防ぎょ訓練の実施の在り方につき、羽咋消防署・消防団と相談して、実効性のあ

る訓練になるよう検討する。

若者との会議「若者議会」の開催を

【質問】 選挙の年齢が18才に引き下げられた。参議院・市長選挙が行われる。がんばる羽咋創生プログラムについて、市内11地区で説明会をし、市民の方々から貴重な意見をいただいた。市政発展には若い人の力が必要であり、18才～30才の若者との会議を提案する。

【答弁】 プログラムの実行には、市民の皆様、特に若い世代の協力が不可欠であり、これまで以上に意見を聞き、施策に反映していくことが重要であり、若者会議の開催を検討する。



稲村 信成 議員

若者が“住み続けたい”と思うまちづくりを！



ママさんの望みは産婦人科

三世代暮らせる住宅支援・産婦人科政策を

【質問】 ①移住支援以上に、市内若者家族と親世帯との同居支援策が不十分で対策が急務である。二世帯同居、敷地内同居等々の新築・改築等の手厚い支援を求める。高齢化社会を支え、介護・医療費の行政コストの削減にも貢献。②若いママさん達の一番の声は市内産婦人科・小児科の充実である。安心して子育てが出来る所に住みたいとの声。

【答弁】 ①今は住宅取得100万円、改築で90万円を上限に助成。市内若者の支援の強化は、今後の推移を見ながら考える。②産婦人科医療では、平成26年12月1日に金沢医療センターと協定を締結した。小児休日当番医制では本年4月より、七尾市と羽咋郡市医師会の協力を得た。また、病後児

保育等、各種子育て支援事業の充実にも努める。

市民は『赤字の道の駅』を心配

【質問】 ①未だに健全経営の具体的な事業計画説明が無い。最新の分析と実施方策を求める。②道の駅条例で「毎水曜日と年末年始は休日」定めるのは商売感覚が無い。石川・富山の道の駅38ヶ所でこれだけ休む駅は数ヶ所のみ。

【答弁】 ①開業後5年での累積赤字の解消を目標とし、収益性に重点を置いている。②休館日は変更可能規定であり、繁忙期等営業状況で柔軟に調整を行う。

その他の質問
企業誘致について

総務民生常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○浜名 等 松永 幸則 大塚 幸男
新田 義昭 中村 孝清 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第32号「平成28年度羽咋市一般会計補正予算第1号」中、当委員会所管分など議案4件、報告5件及び請願2件。6月15日に委員会を開催し審査した。

その結果、議案4件及び報告5件については、いずれも全会一致で原案のとおり可決・承認した。請願第6号「熊本地震災害対策と被災者生活再建支援法の充実を求める意見書提出を求める請願」は全会一致で採択、請願第7号「消費税の再増税を中止し、生活費非課税・応能負担の税制を求める意見書の採択を求める請願」は賛成少数で不採択とした。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 いしかわ道徳教育推進事業費委託金とあるが、その事業内容は。また、どこの学校なのか。

【答弁】 これは県の事業で、各学校の道徳授業についての研究や発表をするものである。また、学校は西北台小学校と羽咋中学校の2校である。

【質問】 介護保険の基金について、今後、どれ位の額を積み立てるのが妥当なのか。

【答弁】 介護保険料は3年毎に改定している。基金は1年目、2年目は積み立てて、3年目で取り崩す計算をしている。基金額は、緊急なものに対応して安心して運営するため、2億円程度必要であると考えている。

その他、のと里山海道の4車線化に伴う遺跡発掘調査、放課後児童健全育成事業費補助金の減額の理由、地域生活支援事業やコミュニティ助成事業助成金等についての質疑・質問がされた。

次に、6月21日に追加議案として提出され、当委員会に付託された案件は、議案第38号「平成28年度羽咋市一般会計補正予算第2号」中、当委員会所管分の議案1件については、引き続き委員会を開催し審査した。その結果、当委員会に付託された案件については、全会一致で原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

移住定住推進事業のプロモーションビデオやブースの事業内容、移住定住相談会の開催時期やその回数確認、自然栽培を中心とした農業生産法人設立の出資金額や方針等についての質疑・質問がされた。

産業文教常任委員会報告

◎寺井 哲也 ○高田 甚哉 北川 真知子
稲村 信成 塩谷 久司 中村 重幸 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第32号「平成28年度羽咋市一般会計補正予算第1号」中、当委員会所管分など、議案3件、報告1件及び請願1件。6月16日に委員会を開催し審査した。

その結果、議案3件及び報告1件については、全会一致をもって原案のとおり可決・承認した。

請願第5号「国の教育予算の拡充を求める意見書の提出を求める請願」については、全会一致により、採択とした。

審査の過程における主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 コスモアイル羽咋及び羽咋市立図書館の指定管理者の指定について、平成29年度から5年間の指定管理者が指定されたが、どのように選定したのか。

【答弁】 平成28年1月から2月にかけて公募を行い、選定委員会において申請した団体に対し、プレゼンテーションなどを実施させ、その内容を踏まえ、適切な団体を候補者として選定した。

【質問】 道の駅の多目的広場の使用について、多目的広場の使用料は、1㎡につき、1日540円となって

いるが、使い方等に関係なく同じ使用料となるのか。

【答弁】 1日540円は上限の金額であり、地域の団体や福祉団体等が使用する場合は、減免等の対応を考えている。

その他、市退職職員の積立金、邑知の郷公園の整備、羽咋小学校周辺の街灯整備、ボランティアグループ等による柴垣海岸の清掃、旧トーカマートの防犯対策について質疑・質問がされた。

次に6月21日に追加提案として提出され、当委員会に付託された案件は、議案第38号「平成28年度羽咋市一般会計補正予算第2号」中、当委員会所管分の議案1件については、引き続き委員会を開催し審査した。その結果、当委員会に付託された案件は全会一致で原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

羽咋市に転入された新規就農者の現状、牡蠣貝を採っている方や漁業に従事している方への支援体制、自然栽培作物を道の駅やアンテナショップ等へ安定的に供給していくことについての質疑・質問がされた。

平成28年 第3回定例会 6月議会

◇平成28年度の一般会計補正予算をはじめ全議案を可決

平成28年度一般会計補正予算など議案6件、報告5件、追加提出された議案2件、諮問2件、議員提出議案2件を原案のとおり可決・承認・適任とした。請願については2件を採択、1件を賛成少数で不採択とした。

■全会一致で議決された議案

	議案名	議決結果
議員提出議案第4号	熊本地震災害対策と被災者生活再建支援法の充実を求める意見書の提出について	可決
議員提出議案第5号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	可決
市長提出議案第32号	平成28年度羽咋市一般会計補正予算(第1号)	可決
市長提出議案第33号	羽咋市観光交流拠点施設条例の制定について	可決
市長提出議案第34号	羽咋市議会議員及び羽咋市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第35号	羽咋市議会議員及び羽咋市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第36号	羽咋市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第37号	コスモアイル羽咋及び羽咋市立図書館の指定管理者の指定について	可決
市長提出議案第38号	平成28年度羽咋市一般会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第39号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
市長提出報告第8号	平成27年度羽咋市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第9号	平成27年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第10号	平成27年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第11号	平成27年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第12号	平成27年度羽咋市千里浜財産区特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について	承認
市長提出諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
市長提出諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
請願第5号	国の教育予算の拡充を求める意見書の提出を求める請願	採択
請願第6号	熊本地震災害対策と被災者生活再建支援法の充実を求める意見書提出を求める請願	採択

■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

議案名	松永幸則	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	高田甚哉	塩谷久司	中村重幸	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
	請願第7号 「消費税の再増税を中止し、生活費非課税・応能負担の税制を求める」意見書の採択を求める請願	×	×	○	×	×	×	議長は採決に加わりません	×	×	×	×	×	×	

●●● 市民の声 ●●●

行政視察の感想を掲載できないか

A.K 富永地区・男性 50代

東京都知事の高額な海外出張費から以降、様々な問題が露にされ世間は、かまびすしいが、羽咋市ではどうだろう。市議会でも視察に行っているが、どこで何を学び、議員として羽咋市にどう活かして行こうかといった話は、あまり聞かない。市民の税金で行くものだから、その中身を知りたいと思う人もいるのではないか。議会だよりに視察の日程スケジュールの明細と参加議員個々の感想を載せたらどうだろうか、検討してみてください。

定数削減ありきは疑問

Y.U 千里浜地区・男性 60代

6月の富山市議会の議員報酬引き上げ問題に端を発した富山市議の取材妨害を新聞で見、それもどうかと思うが、富山市議会は、議員定数を40から38に削減とセットで議員報酬を引き上げるということ。違和感を持つのは私だけだろうか。昨今、議員の定数を減らすかわりに報酬を引き上げる自治体が多いように思う。東京都知事の疑惑を追及したように議会の役割は、市政をチェックすることにある。市民の声を市政に届ける役割もある。定数削減ありきではないと思うのだが・・・。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は9月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成28年6月議会の会議録は、9月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

4月14日、熊本県を中心に起きた熊本地震は、大きな被害をもたらしました。

6月議会では、「熊本地震災害対策と被災者生活再建支援法の充実を求める意見書」が全会一致で可決されました。被災者の住宅再建に対する支援の拡充や復旧・復興は、国の負担で行うことを求めています。

日本列島は、近年、能登沖地震、中越沖地震、岩手宮城内陸地震、東北地方太平洋地震、そして熊本地震と地震が続いています。熊本地震の教訓をしっかりと学び、防災・減災への備えをしっかりとしなければならないとの思いを強くしています。（北川真知子）

市議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	松永 幸則
副委員長	浜名 等
委員	北川真知子
	寺井 哲也
	櫻井 英一